

## 臨床研究に関する公開情報

令和2年5月25日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

### <概要>

#### 研究課題名:

「人工呼吸器管理中の患者における睡眠薬の経腸投与と鎮静薬の経静脈投与量の変化及び予後に関する後方視的コホート研究」

研究期間：2015年7月から2022年3月まで

対象：2015年7月から2019年12月に兵庫県立尼崎総合医療センターに入院した中枢神経障害患者

研究目的：気管挿管され人工呼吸管理が実施された患者の睡眠薬の経腸投与時期と鎮静薬の経静脈投与量の変化及び予後の関係を検討します。

方法：診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、年齢、性別、BMI、来院時のGCS、慢性疾患の有無（呼吸不全、心不全、透析、癌や免疫抑制、肝硬変）、ICU入室時の各SOFAスコア（循環、呼吸、肝、腎、凝固、意識）、SOFAスコアの合計、疾患名、院内死亡、ICU死亡、ICU滞在期間、人工呼吸器期間、入院期間、気管切開、鎮静深度（RASS）、不整脈、使用した薬剤の情報など

研究成果は学会、および論文にて公表します。

個人情報：臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

問い合わせ先：研究責任者： 恒光 健史

兵庫県立尼崎総合医療センター 救急集中治療科

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町2-17-77

TEL：06-6480-7000 FAX：06-6480-7001